

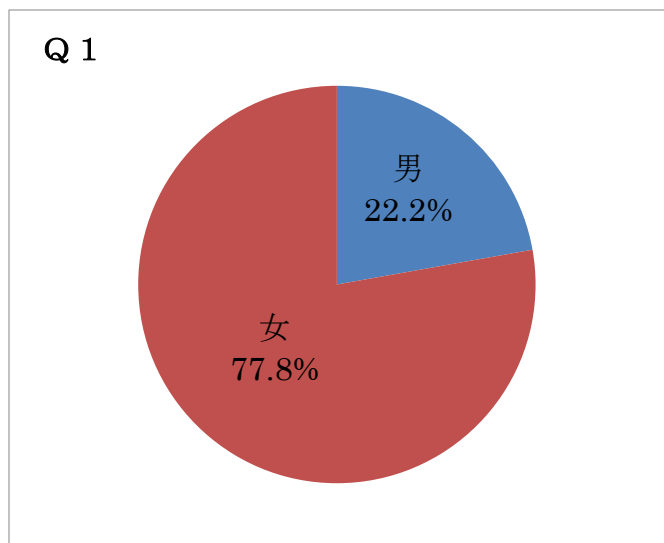
大槌町姉妹都市（米国フォートブラッグ市）生徒間交流事業アンケート調査結果

大槌町では、平成 13 年度（2001 年度）より、姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州フォートブラッグ市との生徒間交流事業を行っております。この交流事業がどのような効果をもたらし、どのくらい御満足いただいているのか、客観的に効果検証するため、参加者の皆様を対象にアンケート調査を実施しました。

- 調査時期：平成 30 年 8 月～9 月
- 対象者：86 名（平成 13 年度から平成 29 年度までの事業参加者）
- 回答数：36 名（回収率 41.8%）

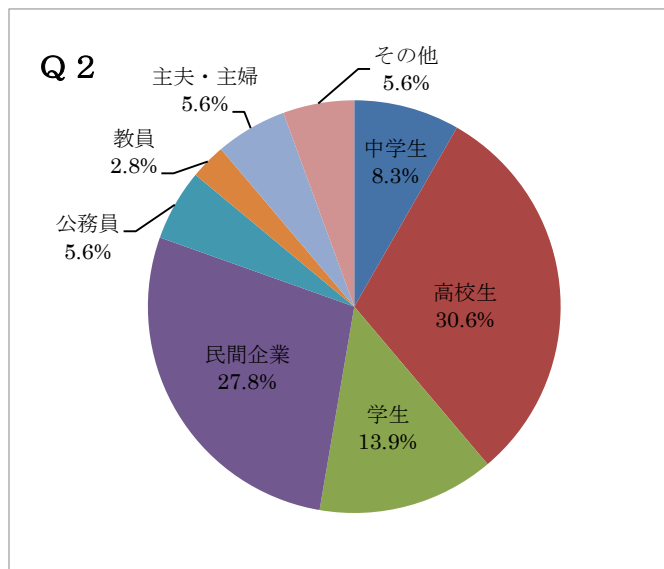
【Q 1. 性別】

| 項目 | 人数（人） | 割合（%） |
|----|-------|-------|
| 男 | 8 | 22.2 |
| 女 | 28 | 77.8 |



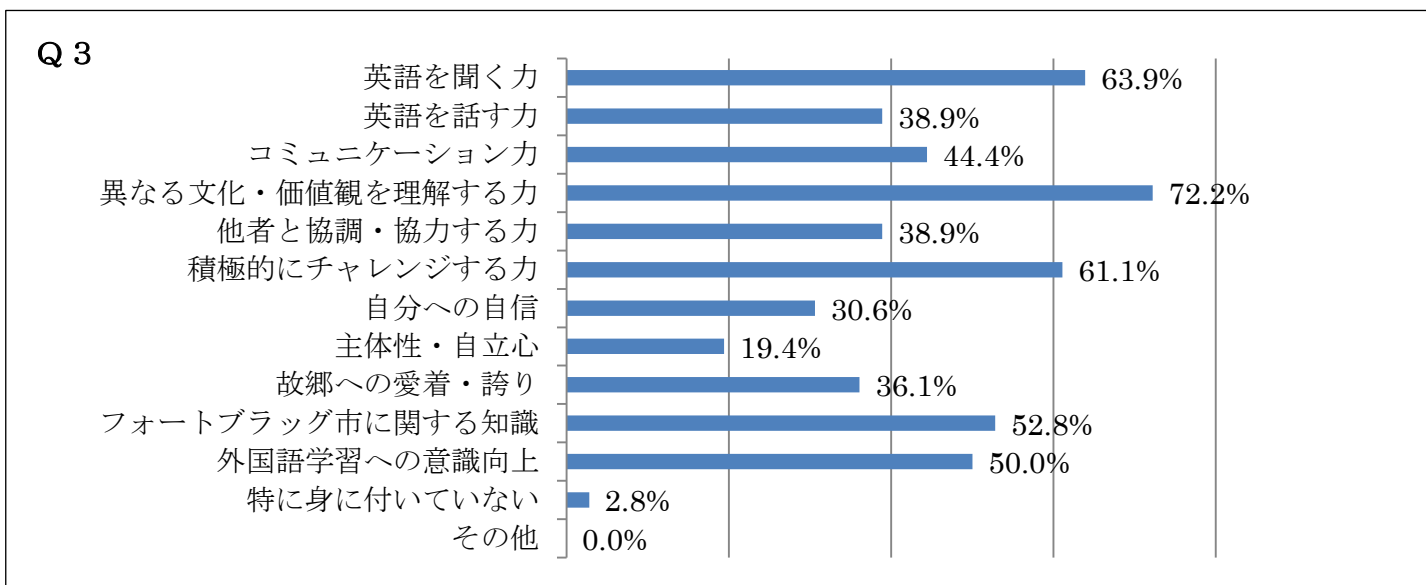
【Q 2. 就学・就業状況】

| 項目 | 人数（人） | 割合（%） |
|----------------|-------|-------|
| 中学生 | 3 | 8.3 |
| 高校生 | 11 | 30.6 |
| 学生 （専門・大学等） | 5 | 13.9 |
| 民間企業 | 10 | 27.8 |
| 公務員 | 2 | 5.6 |
| 教員 | 1 | 2.8 |
| 主夫・主婦 | 2 | 5.6 |
| その他 | 2 | 5.6 |



【Q3. 事業に参加したことで、身に付いたことは何ですか？（複数回答可）】

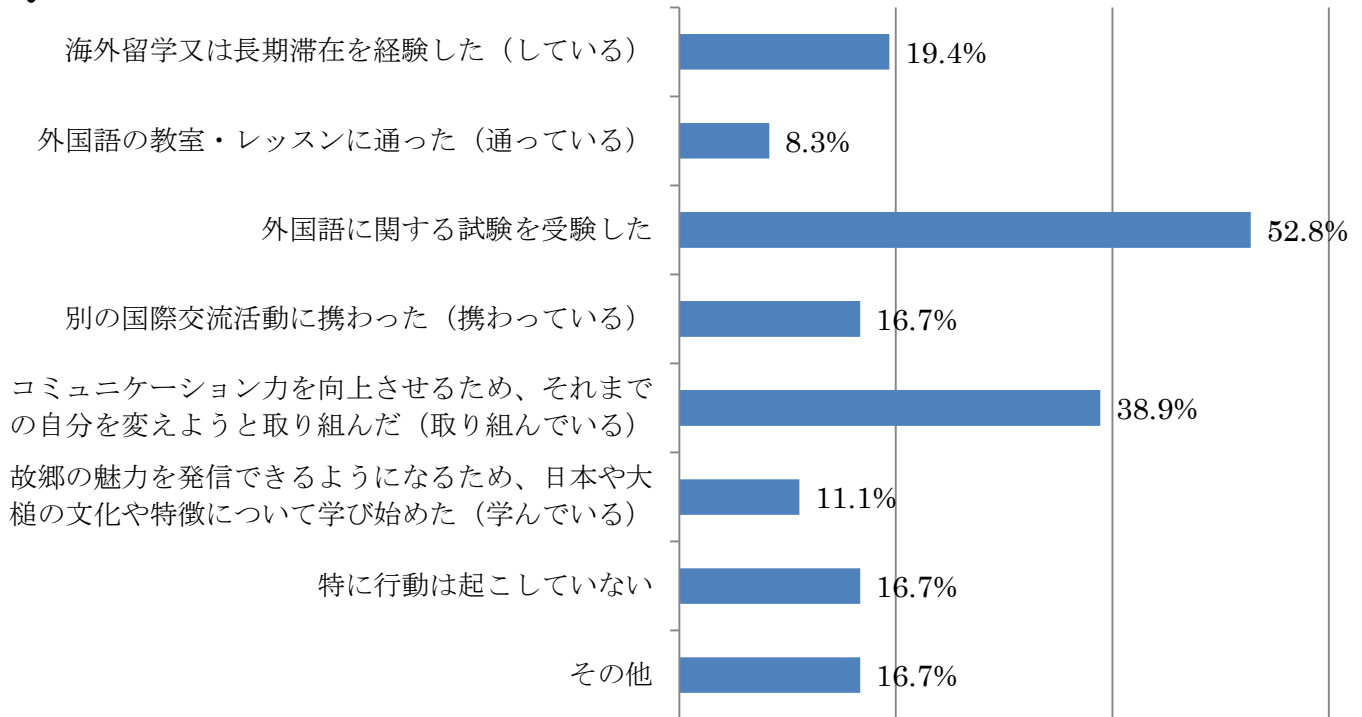
| 項目 | 人数（人） | 割合（%） |
|-----------------|-------|-------|
| 英語を聞く力 | 23 | 63.9 |
| 英語を話す力 | 14 | 38.9 |
| コミュニケーション力 | 16 | 44.4 |
| 異なる文化・価値観を理解する力 | 26 | 72.2 |
| 他者と協調・協力する力 | 14 | 38.9 |
| 積極的にチャレンジする力 | 22 | 61.1 |
| 自分への自信 | 11 | 30.6 |
| 主体性・自立心 | 7 | 19.4 |
| 故郷への愛着・誇り | 13 | 36.1 |
| フォートブラッグ市に関する知識 | 19 | 52.8 |
| 外国語学習への意識向上 | 18 | 50.0 |
| 特に身に付いていない | 1 | 2.8 |
| その他 | 0 | 0.0 |



【Q4. 事業に参加したことで、どのような行動を起こしましたか？（複数回答可）】

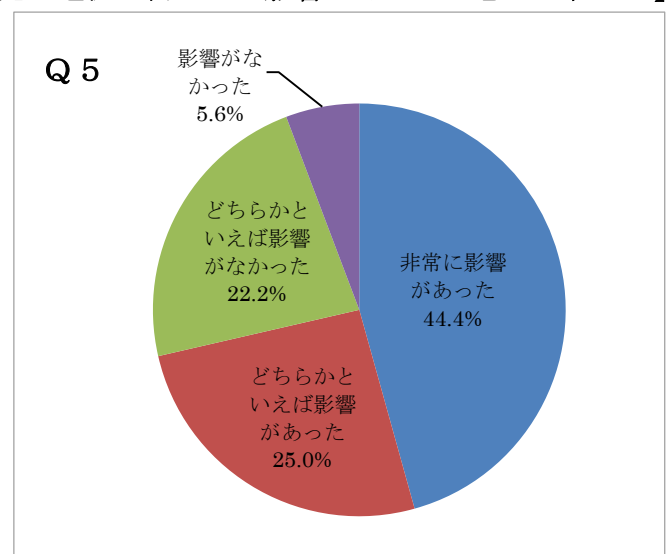
| 項目 | 人数（人） | 割合（%） |
|--|-------|-------|
| 海外留学又は長期滞在を経験した（している） | 7 | 19.4 |
| 外国語の教室・レッスンに通った（通っている） | 3 | 8.3 |
| 外国語に関する試験を受験した | 19 | 52.8 |
| 別の国際交流活動に携わった（携わっている） | 6 | 16.7 |
| コミュニケーション力を向上させるため、それまでの自分を変えようと取り組んだ（取り組んでいる） | 14 | 38.9 |
| 故郷の魅力を発信できるようになるため、日本や大槌の文化や特徴について学び始めた（学んでいる） | 4 | 11.1 |
| 特に行動は起こしていない | 6 | 16.7 |
| その他 | 6 | 16.7 |

Q 4



【Q 5. 事業に参加した経験が、その後の進路や就職先の選択に何らかの影響があったと思いますか？】

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|-----------------|--------|--------|
| 非常に影響があった | 16 | 44.4 |
| どちらかといえば影響があった | 9 | 25.0 |
| どちらかといえば影響がなかった | 8 | 22.2 |
| 影響がなかった | 2 | 5.6 |



【Q 6. Q 5のとおり回答した理由を教えてください。(任意)】

<非常に影響があった>

- ・事業に参加したことで、英語を学びたいという意欲が沸き、外国語大学に進学し、英語を学ぶことになった。
- ・外国人ともっと関わりたいと考え、英語専攻で短大に進学した。
- ・高校卒業後の進路について迷った。外国語を学び留学したいという気持ちもあったが、日本のことをもっと正しく知ってほしいという思いもあり、日本史学科に進学した。
- ・実際にフォートブラッグへ行って、言葉が通じない悔しい経験をたくさんしたので、もっと英語を勉強して視野を広げ、多様な考え方ができる人になりたいと思ったため。
- ・より円滑に外国人の人とコミュニケーションを取れるようになりたいと思えた。
- ・フォートブラッグ市に地元大槌のことが大好きな人が多くいることを知って、改めて大槌に誇りを持った。

<どちらかといえば影響があった>

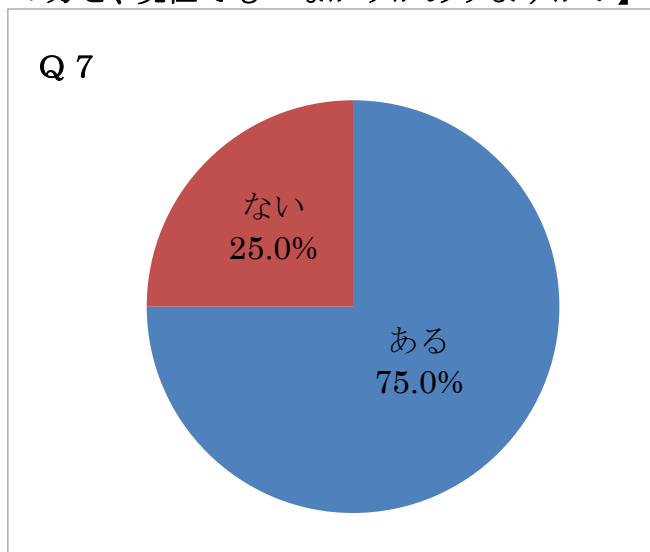
- ・やりたいこと、やってみたいことに対して、チャレンジしようと思い、実際に自分で選択してきた。
- ・英語は学生の時から得意ではありませんでしたが、本事業に参加した時に身振り手振りで何とかやれたことが自信につながり、自分の長所になった。

<どちらかといえば影響がなかった>

- ・直接的な影響は無いが、本事業を通して自分自身の生き方を積極的に考えるようになった。具体的に言うと、自分の進路は自分自身で決めることができ、色々なことに挑戦できると思うようになった。
- ・全く関係のない分野の職業に就職したため。
- ・元々進路がはっきりと決まっていたため。

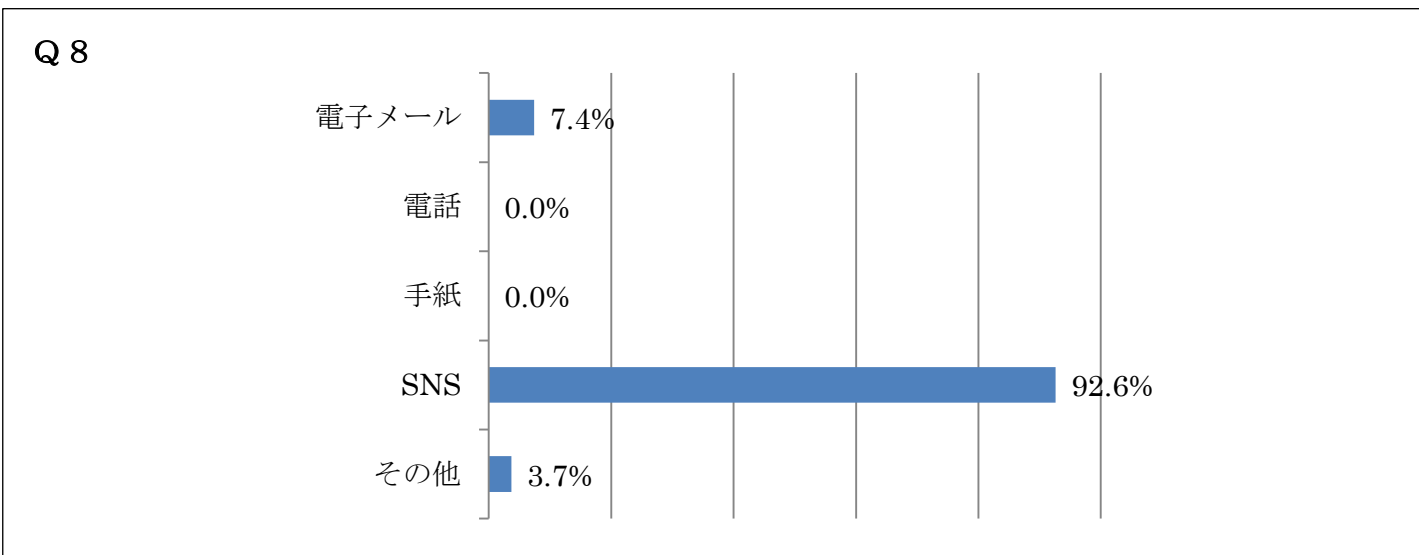
【Q7. 事業に参加して知り合ったフォートブラッグの方と、現在でもつながりがありますか？】

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|----|--------|--------|
| ある | 27 | 75.0 |
| ない | 9 | 25.0 |



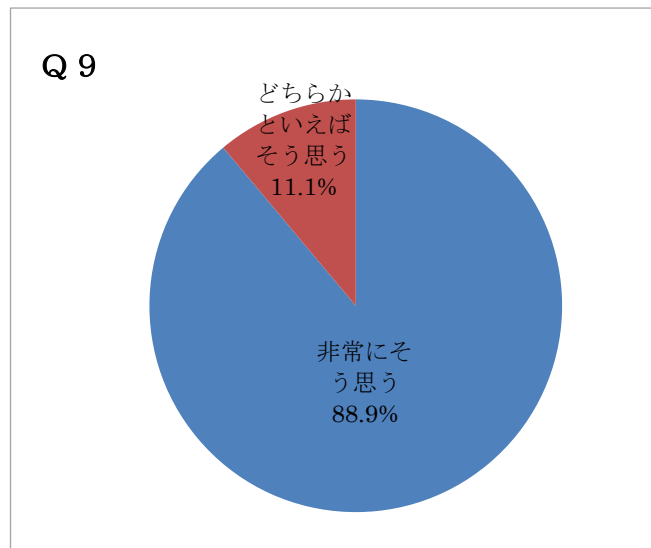
【Q8. (Q6で「ある」と回答した方のみ) どのような手段でつながっていますか？ (複数回答可)】

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|-------|--------|--------|
| 電子メール | 2 | 7.4 |
| 電話 | 0 | 0.0 |
| 手紙 | 0 | 0.0 |
| SNS | 25 | 92.6 |
| その他 | 1 | 3.7 |



【Q9. 事業に参加して良かったと思いますか？】

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|--------------------|--------|--------|
| 非常にそう思う | 32 | 88.9 |
| どちらかといえば そう思う | 4 | 11.1 |
| どちらかといえば そう思わない | 0 | 0.0 |
| そう思わない | 0 | 0.0 |



【Q10. Q9のとおり回答した理由を教えてください。(任意)】

<非常にそう思う>

- ・思い通り言葉が通じない環境の中で、自分自身で相手に気持ちを伝える方法を模索し、実行できる力が身に付き、様々な感動を得られた反面、理想通りにならない悔しさも味わえたことが非常に良い経験となった。
- ・視野や考え方の変化や拡大を実感できている。
- ・大げさな表現ではなく、人生が変わった。当時広報で1期生がフォートブラッグに行った時の記事を読んで、「自分も絶対に行くんだ！」という憧れだったため、英語に打ち込むきっかけとなった。
- ・参加したことにより、自分が今まで受けることのなかった刺激をもらった。そして、この事業の影響により学ぶ意欲も高まり、後の高校や大学選択も外国語を学べる学科を選択した。今となっては人生のターニングポイントであったと感じる。
- ・大槌の仲間とフォートブラッグに行き、素敵な思い出ができた。親と離れ、ホームステイ先で過ごせたことが自信となり、色々なことにチャレンジしようという気持ちが持てた。
- ・英語力だけではなく、コミュニケーション力も身に付いて、外国人のみならず日本の友達や初対面の人とも話せるようになった。

<どちらかといえばそう思う>

- ・育ってきた環境によって考え方や価値観が大きく異なることを理解でき、日本の常識が通用しないことがわかった。日本食の美味しさが本当にわかった。
- ・自分の視野が広がった。それまで消極的だったが、色々な経験をしてみたいと思い、積極的に行動するようになった。

【Q11. その他、事業について御意見や御提案等がありましたら、ご記入ください】

- ・私は本事業の1期生ということもあり、選考の段階から手探りの部分が多かったと思います。参加に至った経緯も決して積極的な理由ではありませんでした。中でも本事業に参加できたことは、15年以上経った今でも良い経験になったと思いますし、人格形成において大きな影響があった出来事だったと思います。今は長いこと大槌を離れているため、本事業がどのように運営されているかは存じ上げませんが、高校生だった私がそうであったように、大槌にいただけでは体験できない感動や喜び、同時にちょっとした挫折を味わうことで、大槌の若者達が成長できることを心から願っております。
- ・ホームステイの受入はしないという生徒をフォートブラッグ市へ派遣するより、初めから受入可能な生徒を選考した方が良いと思います。

- ・この交流事業に参加させていただいたことで、本当に自分の人生が変わりました。そして、一番は一生関わることができる友人ができたことです。東日本大震災後、「写真を流されたでしょう？」と、当時の写真を全てSNSに載せてくれたり、私が結婚や出産の報告をすると、今でも「おめでとう！」と言ってくれます。今後の未来を担う子ども達のため、これからもこの事業をぜひ続けてほしいと思います。
- ・ホームステイという体験は個人ではなかなかできることではないと思います。町でこのような事業を運営していただけることは本当にありがたいです。自分の子ども達が大きくなったらこの事業を体験してもらいたいので、今後もフォートブラッグ市との交流を続けていただきますようお願い致します。子ども達がフォートブラッグ市へ行く時には、私も一緒に行きたいです！
- ・私にとってはフォートブラッグ市の方々に会えたことは、とても嬉しいことです。それ以上に当時大槌町国際交流協会の会長を務めていらっしゃった故・山崎勝太郎先生に出会えたことが、私の幸せであり、教員の道に進む勇気を持たせてくれたかけがえのない方です。勝太郎先生のような素晴らしい方から、異文化交流を学び、お互いの価値観を理解し合うことを教えられました。これからの大槌を担う子ども達にも、ぜひ交流事業に参加してほしいと思います。どうか絶やすことなく、この事業を続けてほしいです。
- ・震災後、フォートブラッグ市の皆様から多くの支援をいただいたので、そのことを町民に伝え、何かしらの形で感謝を伝えられたら良いと思う。
- ・この事業のおかげで、色々な体験ができました。ホストファミリー、ホームステイ等、楽しみながら学ぶこともあって、そのおかげで検定取得や大学進学に挑戦することができたと思います。もし参加していなかったら、人脈も広がっていないし、英文学科も志望していなかったと思います。大学進学後も、この姉妹都市交流に協力していきたいと思っています。
- ・大槌町もフォートブラッグ市も大好きです！将来は私も大槌町とフォートブラッグ市の姉妹都市友好関係と、本事業に携わっていきたいと思います。